

頑張れ店長

ちよつといい話かも

今年も残すところ、あとわずか。1年があつという間に過ぎる感じがしたら、年をとった証拠だとか。それでも振り返ってみれば、いろいろなことがあつたはず。ホールのように多くの人が出入りするところであれば、毎日さまざまな出来事があります。そんな中から、ちよつといい話を各地の店長さんたちに紹介してもらいます。

今日の機械は機嫌が悪い

「いつも楽しそうに遊んで帰るお客様がいます。負けたときも上機嫌なので、『今日は機械の機嫌が悪くて申し訳ありません』と声をかけると、『そうだね、今日の機械はそっぽを向いていたようだね。でも、私はいつも予算を決めて遊んでいるから、負けても平気なの』。そのお客様が言うには、今日は5千円とか1万円とか予算を決めておけば、負けても損をしたと思わないそうです。『せっかく遊びに

きたんだもの。気分を悪くして帰りたくないじゃない』。できたお客様です」(関東・A店長)

もう少し打てば当たるのではないかと次々と資金を投入して生活費まで食い込むと負けたときのダメージが大きい。使えるお金のリミットを決めておけば痛手を負うことがあります。遊技するお客様はそうあつてほしいものです。

1円からのわらしべ長者

「こんなお客様がいます。いつも決まって1円パチンコで遊び始めて、勝つと計数してから4円パチンコに移るのですが、1円パチンコで負けたら、そのまま帰ります。移った4円パチンコでは、1円パチンコで勝った分以上は使わず、それで勝てば1円パチンコの4倍の景品を獲得できます。これなら負けを最小に抑え、勝ちを最大にできるわけで、私は密かにこのお客様を『わらしべ長者』と呼んでいます」(中部・B店長)

貧しい若者が手にした菓を次々に物々交換して、最後は大金持ちになるといふのが『わらしべ長者』というおとぎ話。このお客様は、それをパチンコに応用しているのでしょうか。

「あまちゃん」のテーマ曲

「NHKの朝の連続テレビ小説『あまちゃん』のテーマ曲の軽快なテンポが好きで、よく店で流しています。遊技なさるお客様も体でリズムを取りながら打っています。大当たりのとたん大喜びです。『じえじえじえ！』と叫んだ

り、中にはリーチが外れたので『じえじえじえ！』と悔しがったり、そのたびに周囲のお客様は大笑いです。ちなみに私の店はドラマの舞台になった岩手県の久慈市でもなければ、東北でもありません」(関東・C店長)

大ヒットしたテレビ

ドラマでしたが、終了後は気が抜けてしまう「あまロス」になる人も続出したとか。でも、C店長の店に行けば、いまでもテーマ曲を聴くことができるそうです。

店長の投荷

電車に乗る

と、若い人は半数以上がスマホでゲームをやっています。駅でも歩きながらやっているから危なくてしょうがない。そんなに熱中していれば、ホールに足を運ばないだろうと思って眺めています。それにパソコンの検索画面に「攻略」と入力すると、以前は遊技機の機種名がずらりと並んだものですが、最近はスマホや携帯ゲーム機用のゲーム名が並んでいます。これまでパチンコのライバルは、テレビゲームや漫画喫茶、ネットカフェなどいろいろありましたが、いまは「スマホゲーム」のよう

スマホゲームが業界のライバルに負けずに魅力を

です。ホールとしては、スマホゲームに負けたくない大画面と迫力、それに居心地のよいサービスと魅力的な景品で勝負するしかないと思っています。(関東・店長)

事故が思いとどまらせた

「入社2年目の男性社員が退職を申し出ました。優秀な人間なので慰留して、1か月たつても気が変わらなければ退職を認めると申し渡しました。それから1週間後、バイクで通勤中に事故を起こし、連絡を受けた私は運び込まれた病院に飛んでいきました。幸い意識はしっかりして

が、片脚骨折の大ケガ。入院中は店の同僚が毎日見舞いに行き、会社は通勤途中の交通事故なので労災の手続きをとりました。私が見舞いに行ったとき、『完治するまで辞められないな』と言うと、彼は『退職は取り消していいですか？こんなに優しくしてもらったら辞められないじゃないですか』と言います。3週間ほど入院し、退院後はリハビリに努め、事故から1か月半ほどで職場に復帰しました。いまも元気に働いています」（中部・D店長）

事故に遭わなければ退職したでしょうが、「事故のおかげで気持ちを引き留めることができたのは皮肉なものです」とD店長は付け加えます。

「寝台導入」では困ります

「入社1年目の新人君を鍛えようと折り込みチラシの原稿を書かせました。すると『接地機種』『寝台導入』『子どもの社内放置撲滅キャンペーン』などなど、誤字というか誤変換のオンパレード。思わず笑ってしまいました。『お前は恥ずかしくないのか。本も新聞も読んでないのか』と叱ると、『はい、読んでいません』と凶星です。そこで私は『それなら読め

店長命令だ』と命じました。それで新聞を購読し、月に1冊は本を読んでいるそうです。素直で根はいい奴なので、ビシビシ鍛えてやります」（近畿・E店長）

ワープロのおかげで漢字を書けない若者が増えていますが、本も新聞も読まないとワープロの誤変換にも気づかないようです。

「もうっ、入店禁止だ！」

「いつもは大人しくて存在感の薄い男性アルバイトが、連れだつて入店した3人の若者に対して、『こらーっ、お前ら高校生だろう。入店禁止だ。帰れ！』と一喝すると、3人は素直に回れ右をして店を出て行きました。私が『君の気迫に押されて退散したんだな。それにしても、よく高校生だとわかったな』と尋ねると、彼は恐縮した様子で『申し訳ありませんでした。連中は私の弟とそのダチなんです』。そんな事情があったにせよ、いざとなれば不正に立ち向かえる男だと彼を見直しました」（関東・F店長）

その男性アルバイトは後日、弟と友達を呼びつけて、自分の店はもちろん他のホールにも出入りするなど厳命したことをF店長に報告したそうです。